平成30年9月までの川島町ごみ処理量

(H30.4.1~H30.9.30) 単位:kg 不燃棟処理 焼却棟処理 容器包装棟処理 直接資源化 上段: 平成30年度 上段:平成30年度 上段:平成30年度 上段:平成30年度 1,775,530 【可燃】家庭系収集 1,944,440 【可燃】自己搬入 【可燃】自己搬入から 76,750 76,75C 146,170 40,660 -般家庭自己搬入 新聞 248,700 46,310 785,480 54,500 雑誌・雑紙 事業系自己搬入 50,830 33,370 34,270 22,270 ,026,430 【可燃】公共搬入 ダンボール 94,170 2,940 【可燃】美化運動 布類 4,630 22,410 シュレッダー 400 4,260 【可燃】動物死体 5,390 O 【可燃】不燃から 8,910 【可燃】容器から 【容器】可燃へ 22,460 8,450 可燃性粗大 0 不燃性粗大 4,760 【可燃】ふれあい 【可燃】雑草 家庭系 21,250 (枝•葉•草) 67,330 75,240 【可燃】雑草 公共 【不燃】家庭系収集 (枝•葉•草) 261,200 【不燃】生活系搬入 204,290 2,000 【不燃】事業系搬入 1,970 8,600 【不燃】 公共搬入 10,900 3,780 【不燃】美化運動 枝•樹木 家庭系 71,650 14,190 かんPETボトル (チップ化) 68,040 枝•樹木 公共 68,830 15,440 びん (チップ化) 70.110 136,380 容器包装 2,711,160 372,540 257,950 228,120 合 計 294,280 3,282,540 251,460 230,570 比較 78,260 571.380 6.490 H30年4~9月総搬入 3,569,770 ~9 較 差 分 489.08C

平成30年4~9月の一人一日あたりのごみ排出量: 3,570*1,000,000/183/20,379 = 平成28年4~9月の一人一日あたりのごみ排出量: 4,059*1,000,000/183/20,614 =

排出量が H29目標 H30目標 609 t +366 t 138g減少 H30目標 **▲**975 t 月平均目標値 **486 †** 975 t ÷12ヶ月=81 t ×6ヶ月=486 t 9月末時点 **▲**571 t 4~9月の総搬入量のH28とH30の比較 +85 † の減量 6ヶ月の目標到達度 平成30年度目標 58.56% H30は975 t の削減が目標 に対しての達成率 3年間の目標に 3年間で1,219t(6,093 t の20%)の削減が目標 |対しての達成率

957 g

1,076 g

一人あたり

9月までの 総焼却量	焼却棟処理量(可燃ごみ量)比較	
	単位:kg	
	平成30年度	2,711,160
	平成28年度	3,282,540
	比較	▲ 571,380

【数字から見る分析】

①一人一日あたりのごみ排出量の減少⇒これは、人口の減少によるものと説明会の効果が要因ではないかと考えられます。 ②可燃ごみが減少し、**不燃や容器包装**及び**雑誌・雑紙**が増えている。⇒何でも可燃ごみにするのではなく、分別意識が高まった効果と考えられます。

重油に換算すると6か月で215,559円ほどの削減効果となります 但し、重油の現状は炉を燃焼させるために必要最小限の量を購入(固定費)しているので、実態としては、1炉運転にならないと重油は減らすことがで

年間 月平均 年間の可燃ごみ量 削減効果

50.712リットル 4,226リットル 6,093トン

2,358,400円 (387円/t) (2,113ℓ/炉)

▲557トン 215,559 (35,926円/月)